

本年度 No.1 の感動作

芥川賞作家・柳美里の感動的なスキヤンダル
100万部突破の大ベストセラー

演技のリアルさに圧倒された。

反町隆史 [俳優]

何かが伝わる映画だと思う。

竹野内 豊 [俳優]

命の大切さを
改めて感じました。

片瀬那奈 [女優]

命

To be aware each moment of the existence of another.
To love is not to seek to convert longing into action.
But to cherish the sense of love for itself.



素晴らしかった!! 圧倒された。

田中麗奈 [女優]

俳優たちの魂が、
柳美里への花束になっている。

俵万智 [歌人]

江角マキコ 豊川悦司

筧利夫 麻生久美子 寺脇康文 平田満 根岸季衣 / 江守徹 / 岸谷五朗 斉藤由貴 樹木希林

原作 / 柳美里 [小説] 監督 / 篠原哲雄 脚本 / 大森寿美男 音楽 / 村山達哉 主題歌 / 安室奈美恵 [Wishing On The Same Star]

映画「命」製作委員会 / TBS 東映 小学館 TOKYO FM 朝日新聞社 製作協力 / フィルムフェイス 配給 / 東映

<http://theater.nifty.com/inochi>

世界でも絶賛!

モントリオール世界映画祭
オフィシャルコンペティション出品作品

絶賛の声、続々—— この秋 日本中が涙する。

主人公の2人の関係が、どん底まで落ちて
這い上がってくる姿が印象的な映画でした。
演技のリアルさに圧倒された。

反町隆史 [俳優]

何かが伝わる映画だと思う。
言葉では伝わらないが、伝わっていくものがある
というのが伝わってくる映画だと思います。

竹野内 豊 [俳優]

とてもリアルで、映画というよりもひとつの物語を
近くで覗いていた様な不思議な感覚の残る映画でした。
命の大切さを改めて感じました。

片瀬那奈 [女優]

柳 美里という生き方を、この映画は、奇をてらうことなく、
とても誠実に伝えている。と同時に、
俳優たちの魂が、彼女への花束になっている。

俵 万智 [歌人]

みんな子供を産むといい。人を愛するといい。
生きることに理由ができると、生きることに迷わない。
わたしも母親だから死ねない。
わたしも愛する人がいるから生きている。

ピーチ・ジョン社長 野口美佳

すごく泣きました。
それは、悲しくて泣いたのではなく、嬉しくて泣いたのでも
なく、心の底からあふれてくる涙だと思いました。
感動しました。

豊田綾乃 [TBSアナウンサー]

素晴らしかった!!
すべての情景が、丁寧に、本当に丁寧に描かれている。
深いテーマにもかかわらず感情がリアルに
そしてストレートに伝わってきた。
圧倒された… とにかく素晴らしかった。

田中麗奈 [女優]

小さな事でつまづいて、些細な事で項垂れて—。
“生きる”という作業に辟易となる事もある。
が、柳美里の、生きていく横顔が教えてくれる。
人を本当に傷つけることなど何者にも出来ない。

渡辺真理 [アナウンサー]

現代に生きた人、現在を生きる人を演じる
豊川悦司、江角マキコの演技は、
これまでの日本映画の枠を超え、
心に焼きつきます。

anan編集部 及川卓也

豊川さんの迫真の演技に圧倒された。
死期が迫ろうとも最後まで諦めずに
「生きたい」「生かしたい」という願いが
胸にしみいる。

person編集長 林るみ

東が美里に言う最後の言葉—。
その一言に込められた重みを、
私は何度もかみしめている。

キネマ旬報編集部 前野裕一

「真実」の物語が、あなたの心を揺さぶる。

原作は『週刊ポスト』(小学館)連載中から話題を巻き起こした
芥川賞作家・柳 美里のベストセラー小説「命」シリーズ(「命」「魂」
「生」「声」小学館刊)。自身の壮絶な体験を赤裸々に綴ったこの小
説は読者から大きな反響を呼び、現在100万部を記録している。

作家、柳 美里。自殺を繰り返してきた彼女が妊娠した。それま
で激しい恋情を交わしていた人は妻帯者。父親になることに困
惑する男の姿を目にし、彼女は生むべきかどうか、激しく揺れ動
きながら、以前、所属していた東京キッドブラザース主宰者・
東 由多加を訪ねる。東はかつての美里の恋人であり、美里から、
書く才能、すなわち生きる目的を見出した恩人であった。しか
し、再会したその場で東は激しく咳き込み、東の体が癌に侵され

ていることを知る。美里と東とお腹の子供の中で、生と死という
正反対のカウントダウンを始める“命”。

主演は柳 美里に江角マキコ。東 由多加に豊川悦司。また、質
利夫、麻生久美子、寺脇康文、平田 満、根岸季衣、樹木希希ら、演
技派、個性派の充実の共演者が脇を固め、さらに岸谷五朗、斉藤
由貴、江守徹らの演技がこの映画に花を添えている。監督は「月
とキャベツ」「はつ恋」などの俊英・篠原哲雄。ドキュメンタリー
では語りきれなかった物語を、質の高い感動作として細部まで
こまやかに映像化することを実現している。また、主題歌は安室
奈美恵。まさにエンディングを飾るにふさわしい曲となっている。
この秋、3つの命の物語が、涙と感動の嵐を巻き起こす。



9月14日(土)よりロードショー!

東西線木場駅・イトーヨーカドー3F・駐車場完備
109シネマズ木場
定員入替制 03(5683)0109